日本体育・スポーツ経営学会　第58回研究集会／日本体育学会体育経営管理専門領域研究会

スポーツをみる力とスポーツプロデュース

–文化を広め生活を豊かにするためのみるスポーツのマネジメント–

BackGrand

スポーツは、人々の生活の質的な向上と密接に結びつく文化として認識されつつある。これまで、体育・スポーツ経営学では、“するスポーツ”への参加者の増加、そして“みるスポーツ”への観戦・視聴者の確保をめぐって、多様な立場から関心が寄せられ、その方策やマネジメントについて研究が蓄積されてきた。人とスポーツとの関わりを拡大する政策や方略については、今後も引き続き検討が必要であろう。一方、スポーツ基本法では、「文化としてのスポーツ」の権利保障が謳われた。メガ・スポーツイベントの開催を目前にしている現在、スポーツ文化の質的成熟についても検討されねばならない時期にあると考える。すなわち我が国のスポーツの潮流を俯瞰すると、成長期から成熟期へとシフトチェンジする絶好の機会に直面していると考える。

さて、“みるスポーツ”においては、スポーツビジネスの立場から観戦者数の増加や視聴率の向上に関心が寄せられがちである。しかし、“みるスポーツ”が一過的な文化として消費されるのではなく、持続可能性のある観戦・視聴文化として日常生活や地域生活の中に位置づけることが求められる。つまり、興行としてのスポーツの生産・供給とそれを消費する観戦・視聴者という需給関係を越え、文化としてのスポーツを主体的に享受し、日常生活の豊かさにその便益を投影させうる長期的な方略が検討されねばならない。そしてそのためには、①“みるスポーツ”の文化的な享受主体の育成、②主体形成を可能にするスポーツコンテンツ及びスポーツプロデュース法の開発が課題となる。

本学会は平成26年度からスポーツプロデュースに関する研究プロジェクトを設置し継続的に議論を重ねてきた。本プロジェクトチームでは、みるスポーツを通して生活の豊かさを創造するためには、人々の「みる力」を育て、主体的なスポーツとの関わりを生み出し、併せて「みる力」を育成支援するプロデュースの在り方の探求を研究の主要課題に据えることとした。そして特に、「みる力」の力量構造を実証的に解明することに焦点を当てて研究を進めてきた。

そこで本研究集会では、テーマを「スポーツをみる力とスポーツプロデュース」と題し、まずプロジェクトの成果を報告する。次に、様々なスポーツ関連のプロデューサーや研究者を招き、「みる力」を意識したプロデュースの具体的方策について議論する。

また、隣接的文化領域である美術における鑑賞術の位置付けを参考に、「みる力」を意識したスポーツプロデュース方策の開発に向けて検討を深めたい。

日　時：平成30年1月27日（土）　13:00～17:00　（受付：12:30～　）

会　場：早稲田大学早稲田キャンパス　22号館201教室

参加費（資料代含む）：当日会場にて徴収いたします。

一般会員：2,000円　学生会員：1,000円　非会員社会人：3,000円　非会員学生：2,000円

定員：100名

主催：日本体育・スポーツ経営学会、共催：日本体育学会体育経営管理専門領域

▪ プログラム：

■ 開会のあいさつ：柳沢和雄　氏（筑波大学／本学会会長）（13:00～13:05）

■ 趣旨説明　　：齊藤隆志　氏（日本女子体育大学）（13:05～13:10）

■ 特別講演　（13:10～14:20）
「人々に美術を広め生活を豊かにするために、どうして「鑑賞力」が必要なのか」
演者：奥村高明　氏（聖徳大学）

［講師略歴］
聖徳大学教授　芸術学博士　専門：美術鑑賞教育、学校と美術館の連携等
著書　「子どもの絵の見方―子どもの世界を鑑賞するまなざし」
「エグゼクティブは美術館に集う (「脳力」を覚醒する美術鑑賞)」等多数

■ プロジェクト研究報告　（14:20～14:40）
テーマ　観戦能力の認知的力量構造について
報告者　醍醐笑部　氏（早稲田大学スポーツ科学研究センター
／スポーツプロデュース研究プロジェクトメンバー）

■ シンポジウム　（15:00～17:00）
テーマ　「みる力」を意識したスポーツプロデュース　～本当のスポーツの楽しみ方～
【シンポジスト】
A)ネットでのスポーツの楽しみ方
～ウエブサイトやデジタルコンテンツをプロデュースする～
杉本　渉　氏（（株）Jリーグデジタル／ヤフー株式会社）

B)パラリンピックの楽しみ方
～オリンピック・パラリンピックをプロデュースする～
田中暢子　氏（桐蔭横浜大学　専門：障害者スポーツ政策学）

C)スポーツ番組の楽しみ方　～TV番組をプロデュースする～
古賀佐久子　氏（株式会社テレビ朝日スポーツ局）

【コーディネーター】
齊藤隆志　氏（日本女子体育大学／スポーツプロデュース研究プロジェクトリーダー）

■ 閉会のあいさつ　：中路恭平　氏（南山大学／本学会副会長）（17:00～17:05）

＜参加申し込み方法＞
参加希望の方は、電話・FAX・電子メールのいずれかの方法で①氏名、②所属、③会員種別（正会員／非正会員、学生／社会人）、④連絡先（住所・電話番号・メールアドレス）をご連絡ください。
＜参加申し込み・お問い合わせ先＞
日本体育・スポーツ経営学会第58回研究集会事務局　早稲田大学作野研究室
E-mail：sakuno@waseda.jp　　TEL & FAX：042-451-1016